

# 財団国際親善奨学生 帰国報告会

財団奨学金・学友委員会

委員長 牧尾晴喜 (大阪ネクストRC)

2011年12月3日(土)の夜、ガバナー事務所の近くにあるドルフィンズ堺筋本町店で「財団国際親善奨学生の帰国報告会と忘年会」をPSCの主催で開催しました。昨年に引き続いて第2回となる、3委員会合同『学友の集い』とし、PSC会員以外に、GSEアルムニ会の方々、米山学友会の方々、および関連委員会のロータリアンにも参加を呼びかけ、学友間の幅広い交流を図っていただくようにしました。当日の参加者は60名近くにもおよぶ大忘年会となりました。



当日は、PSC会長の野村雅夫さんの司会で進行了しました。米山奨学生学友会(関西)からは同会の近況などを、GSEアルムニ会からは、スリランカへのチーム派遣に際する準備状況や意気込み、そして、以前にご参加いただいた全国学友会の結成式の様子をお伝えいただきました。当委員会の奨学生の帰国報告では、2009～10年度奨学生の土岐友季子さん(フランス、ヴェルサイユ音楽院)、2009～11年度奨学生の水田百合子さん(フランス、パリ第3大学)、

2010～2011年度奨学生の依田悠介さん(アメリカ、ペンシルバニア大学)が、留学体験を通じての研究活動や国際親善活動、人生観の変化などを熱心にスピーチされました。警察官であるロータリアンがカウンセラーであったために、内側からドアを開けられない車両で送迎いただいた等、ユニークな経験もあったとのこと。今後のロータリーとの積極的なかわりについても抱負を述べていただきました。

昨年はどうしても各委員会で集まってしまうがためであったため、今年はなるべく分かれて座るように最初に誘導するなど配慮して、より積極的な交流を促しました。終始なごやかな雰囲気ですべての会が進行し、大変盛り上がりました。今後も、このような学友同士、委員会同士の交流を継続できれば、お互いの刺激やロータリー活動の活性化にもつながるのではないかと期待感を抱く一夜となりました。

